



**NEX**  
**NIPPON**  
**EXPRESS**

**We Find the Way**

## **BUSINESS** REPORT

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

年次報告書 | 2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日

**NEX** **NIPPON**  
**EXPRESS**

**We Find the Way**

証券コード No.9147

# TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。この度、代表取締役社長に就任いたしました堀切智でございます。NXグループ第2期（2023年1月～12月）の概況と新経営計画につきまして、ご報告申し上げます。

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社  
代表取締役社長

堀切 智

## Profile

1983年 4月  
日本通運株式会社入社

2007年 5月  
日本通運株式会社 総務・労働部専任部長

2011年 6月  
日本通運株式会社 京都支店長

2015年 5月  
日本通運株式会社 執行役員  
北関東・信越ブロック地域総括兼群馬支店長

2017年 5月  
日本通運株式会社 執行役員

2017年 6月  
日本通運株式会社 取締役執行役員

2018年 5月  
日本通運株式会社 取締役常務執行役員

2019年 4月  
日本通運株式会社 取締役専務執行役員

2019年 6月  
日本通運株式会社 専務執行役員

2020年 4月  
日本通運株式会社 副社長執行役員

2020年 6月  
日本通運株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員

2022年 1月  
当社 代表取締役副社長 副社長執行役員

2023年 1月  
当社 副社長執行役員

2023年 1月  
日本通運株式会社 代表取締役社長 社長執行役員

2024年 1月  
当社 社長執行役員

2024年 3月  
当社 代表取締役社長 社長執行役員（現任）



当連結会計年度の世界経済は、一部の国や地域で内需の底堅さがみられ、資源価格の高騰にも一服感がみられるなど緩やかな回復基調にあるものの、欧米を中心とした政策金利の高止まりが経済活動の下押し圧力となるなど、本格的な経済回復は道半ばの状況となりました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・ハマス紛争、米中間の対立などの地政学リスクや経済安全保障リスクが高まっており、先行き不透明な状況下において、総じて厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなか、物流業界におきましても、国際物流では、在庫調整の一巡などにより、荷動きが回復している地域や産業が一部ではみられるものの、総じて低調に推移し、コロナ禍以来続いていた航空輸送や海上輸送における需給逼迫状況も大幅に緩和され、サプライチェーンの正常化が進みました。国内物流では、訪日外国人観光客の回復などによる小売やサービス分野での改善や、車載用半導体不足の緩和による自動車生産の回復など、一部では動きがみられるものの、世界経済の減速とも連動する製造業での生産の落ち込みの影響が大きく、全体としての荷動きは力強さに欠ける状況で推移いたしました。引き続き、地政学リスクや経済安全保障リスクに加え、国内では物価高や円安に伴う各種調達コストの上昇、物流業界における2024年問題など、今後の動向に注視が必要な状況にあります。

NXグループは、このような経営環境のもと、2019年4月にスタートいたしました5年間の経営計画「NXグループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」の最終年度となる当連結会計年度も、大きな方向性を変えることなく、足元の経営基盤を強化しながら、最終目標に定めた各種指標の達成と、「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」という長期ビジョンの実現に向け、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

## 事業の成長戦略

「コア事業の成長戦略」につきましては、グローバル事業本部（GBHQ:Global Business Headquarters）を中心に、営業戦略の中枢に「グローバルアカウントマネジメント」を据え、グローバルな

営業体制、組織の更なる強化に努めてまいりました。顧客（産業）軸アプローチでは、電機・電子、自動車、アパレル、医薬品、半導体関連の5つを重点産業として捉え、継続的に顧客へのアプローチに取り組むとともに、新たな顧客基盤を構築するため、グローバル市場においてプレゼンスを持つ非日系顧客の開拓にも取り組んでまいりました。事業軸アプローチでは、航空および海運フォワーディング事業に加えて、コントラクト・ロジスティクスの拡販を強化し、顧客サプライチェーンをカバーするソリューションビジネスの提供が可能な販売体制の構築を図ってまいりました。

「日本事業の強靱化戦略」につきましては、NXグループの核となる日本国内物流事業の収益性の更なる改善と経営基盤の強化に向け、間接部門人員の再配置を進めるとともに、先端技術の導入やロジスティクス人財の育成による倉庫オペレーションの強化、オフィス業務の自動化・簡素化による生産性の向上に取り組んでまいりました。また、CO<sub>2</sub>削減や2024年問題に伴う輸送力不足など、今後の物流を取り巻く課題解決に有用な輸送モードである鉄道や内航船を活用したモーダルシフトの推進、自然災害時のバックアップ輸送体制の構築に取り組むなど、ネットワーク商品の強化にも努めてまいりました。

## 長期ビジョン実現のための取組み

「非連続な成長戦略」として、M&A戦略を前提に、ホールディングス体制での変革を加速し、グローバルな成長を実現できる体制や、より強固なグループ経営を行う体制の構築に取り組んでまいりました。過去最大の投資となるcargo-partner社のM&Aを通じて、今後、欧州域内の生産拠点として成長が見込まれる、中東欧地域のロジスティクス基盤を補完し、グローバルネットワークの更なる拡大に努めてまいります。

「取組みを支える機能の強化」につきましては、グローバルでの競争優位を築くためのブランディング戦略として、NXグループブランドの浸透・強化に努めてまいりました。また、世界最高峰の野球大会である「2023 World Baseball Classic™」のグローバルスポンサーとして、グループの認知度向上を推進いたしました。



## NXグループ経営計画2028

# Dynamic Growth 2.0

今後の経済動向につきましては、世界的にインフレがピークアウトし、欧米を中心とした金融引き締め局面は転換点を迎つつも、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢など地政学リスクの高まりにより、不透明な状況が続くことが予測されます。

物流業界におきましては、地政学リスクおよび経済安全保障リスクの高まりを踏まえ、安全調達の観点から既存のサプライチェーンを見直す顧客企業への対応に加え、気候変動への対応や、慢性的な人材不足、デジタル化への対応、先端技術の導入による新たな物流サービスの開発など、業界全体として社会の持続的な成長を支える新たな価値創造産業への転換が求められております。

NXグループは、このような経営環境のもと、今後5年間の経営指針となる「NXグループ経営計画2028 Dynamic Growth 2.0 “Accelerating Sustainable Growth ～持続的な成長の加速～”」を策定いたしました。前経営計画に続くセカンドステージとして、創立100周年となる2037年にありたい姿として定めた「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」という長期ビジョンの実現に向けて、これからも変革に挑戦し続けてまいります。

長期ビジョンの実現に向けて、目指すべき方向に大きな変わりはありませんが、NXグループ経営計画2028では、対処すべき最重要課題として、「グローバル市場での事業成長の加速」「日本事業の再構築」「サステナビリティ経営の推進」の3つを掲げております。

### グローバル市場での事業成長の加速

長期ビジョンの実現のために、これまで以上にお客様志向のもと、グローバル市場におけるコアロジスティクス事業の成長を加速させてまいります。グループ全体最適によるアカウントマネジメントを

「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立」につきましては、持続的な成長とステークホルダーとの共創による企業価値向上を目指すなか、サステナビリティ経営を一層推進するため、2023年1月にサステナビリティ方針・ビジョンを策定いたしました。その取組みの一環として、カーボンニュートラル社会実現への貢献と地球環境の保全を目指し、CO<sub>2</sub>排出量削減について新たな中長期目標を設定いたしました。今後も気候変動への取組みを進めていくとともに、積極的に取組内容の情報開示を行ってまいります。

また、長期ビジョンの実現に向け、「社員が幸せを感じる企業に変革する」ことを掲げ、日本国内では、「ダイバーシティ」「働き方の改善」「ワークスタイルイノベーション」を柱に、「意識改革」「風土改革」「働き方改革」「行動改革」の4つの改革を推進するとともに、グローバル成長を見据えた人財戦略として、多国籍人財の採用や、法務・会計など高い専門性が求められる領域での経験者採用などを進めてまいりました。

この結果、**第2期連結経営成績につきましては、売上収益は2兆2,390億円、営業利益は600億円、税引前利益は612億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は370億円**となりました。

## “Accelerating Sustainable Growth ～持続的な成長の加速～”

推進していくことにより、お客様のグローバル・サプライチェーンにEnd to Endソリューションを提供し、事業領域の拡大を目指します。重点産業や非日系顧客への取組みを加速させるとともに、航空および海運フォワーディングの販売拡大や倉庫を中心とした幅広いロジスティクスソリューションの提供強化にも注力してまいります。

M&Aや提携、戦略投資によるダイナミックな事業成長の実現にも引き続き取り組んでまいります。特に、過去最大のM&Aとなるcargo-partner社へのPMI早期実行により、中東欧地域でのロジスティクス基盤の補完によるグローバルネットワークの拡大など、グローバル市場における競争力の強化に取り組んでまいります。また、エリア戦略として、中長期的な視点で、更なる経済成長が見込まれるインドでの事業拡大にも挑戦してまいります。

### 日本事業の再構築

マザーマーケットである日本では、明確な事業ポートフォリオと役割分担のもと、各事業の強靱化による収益力の向上に取り組むとともに、低収益事業については、事業の整理や入替も視野に入れ、収益力の高い組織への変革に取り組んでまいります。

東名阪の大都市圏では、グローバル市場での事業成長の起点として、カスタマーイン・マーケットイン視点のもと、経営資源の再配置を進めてまいります。その他の地域では、将来性を踏まえ、収益性と資本効率の向上に取り組んでまいります。これらを踏まえ、日本事業の中核となる日本通運では、マーケットの特性に応じて、各エリアの役割を明確にし、経営の自由度を高めていくことを目的として、社内カンパニー制導入の検討を進めております。

また、専門ロジスティクス事業については、NXグループの事業ポートフォリオにおける存在意義を明確にし、専門性の向上と品質の強化に努めるとともに、物流サポート事業においては、ロジスティクス・トータル・ソリューションの展開によるグループ全体の競争力強化に取り組んでまいります。

### サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ経営を推進していくにあたり、企業価値の向上と社会課題の解決のために取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を、「サステナブル・ソリューションの開発・強化」「グローバル・サプライチェーンの強靱化」「気候変動への対応強化」「イノベーションを生む人財力の向上」「人権の尊重と責任ある企業活動の実現」の5つに再特定しております。

サステナビリティは、物事を考えるうえでの、全てのベースとなる観点となります。事業を通じて、社会課題の解決に貢献することは、これまでもNXグループが果たしてきた役割であり、今後もこれまで以上に積極的に取り組んでいくことで、顧客・社会・株主・社員から選ばれる企業グループへ変革してまいります。

NXグループは、長期ビジョンである「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現に向けて変革を加速させ、更なる成長と、より一層の企業価値向上に努め、株主の皆様のご期待にお応えする所存でございますので、引き続き株主の皆様のご理解とあたたかいご支援をお願い申し上げます。

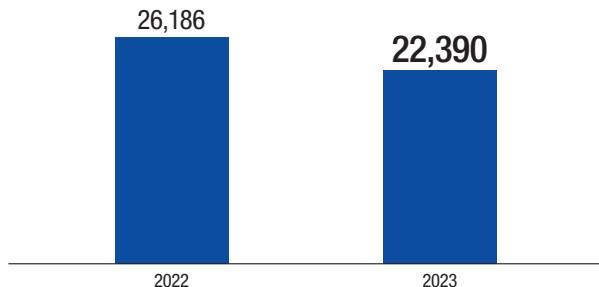
2024年3月

売上収益

2兆2,390億円

前期比 14.5%減

(単位:億円)

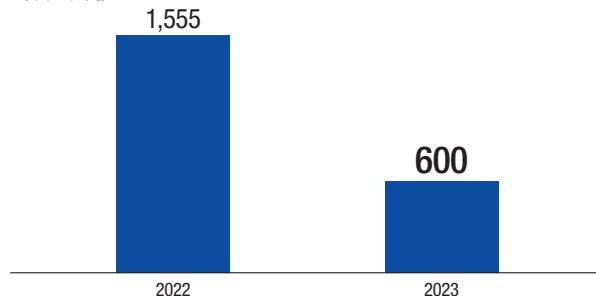


営業利益

600億円

前期比 61.4%減

(単位:億円)



売上収益

12,565億円

前期比 13.4%減

セグメント利益(事業利益)

485億円

前期比 32.0%減

売上収益

1,512億円

前期比 6.7%減

セグメント利益(事業利益)

92億円

前期比 32.6%減

売上収益

1,926億円

前期比 10.7%減

セグメント利益(事業利益)

98億円

前期比 21.5%減

売上収益

1,576億円

前期比 34.7%減

セグメント利益(事業利益)

37億円

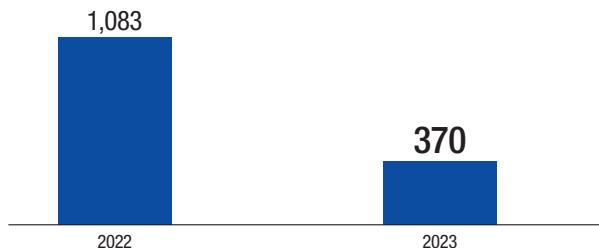
前期比 70.6%減

## 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 370億円

前期比 65.8%減

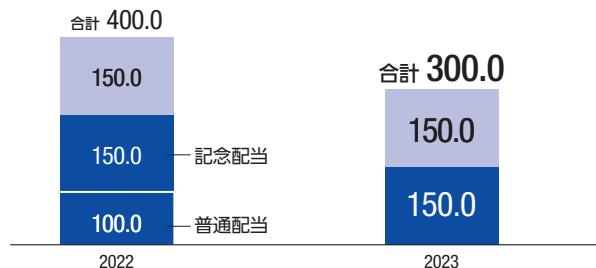
(単位:億円)



## 期末配当金

# 150.0円

■中間 ■期末  
(単位:円)



### 南アジア・オセアニア (ロジスティクス)



### 警備輸送



### 重量品建設



### 物流サポート



#### 売上収益

## 1,408億円

前期比 36.5%減

#### 売上収益

## 678億円

前期比 0.3%減

#### 売上収益

## 511億円

前期比 14.7%増

#### 売上収益

## 4,258億円

前期比 1.0%増

#### セグメント利益(事業利益)

## 83億円

前期比 58.5%減

#### セグメント利益(事業利益)

## 33億円

前期比 8.9%増

#### セグメント利益(事業利益)

## 65億円

前期比 2.0%増

#### セグメント利益(事業利益)

## 138億円

前期比 15.8%減

NXグループ経営計画2028

経営計画2028における基本方針・重要戦略

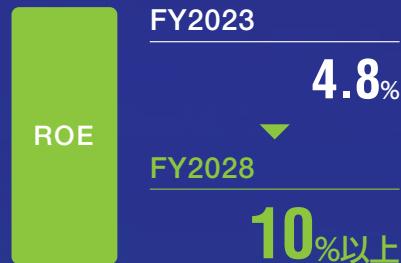
## NXグループ経営計画2028

# Dynamic Growth 2.0

“Accelerating Sustainable Growth ～持続的な成長の加速～”

### 基本方針

- グループ全体最適志向の下、グローバルな競争力の向上と事業の成長を実現する。
- 明確な事業ポートフォリオと役割分担のもと、事業の競争力・収益性を高め、企業価値を高める。
- 社会課題解決や持続可能社会の実現へ貢献するサステナビリティ経営を実践し、顧客・社会・株主・社員から選ばれる企業グループへ変革する。



グローバル市場での  
事業成長の加速

日本事業の再構築



サステナビリティ  
経営の推進



本頁に記載の将来数値は、現時点における目標値又は計画値であり、その実現を保証するものではなく、様々なリスクや不確定要素によって、実際の数値と大きく異なる可能性があります。弊社はその後の状況の変化等により当該情報を更新する義務を負うものではありません。

NXグループ経営計画2028

経営計画2028における重要戦略

事業の成長戦略	グローバル市場での事業成長の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 顧客志向・顧客サプライチェーン視点によるロジスティクス事業の成長                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 顧客サプライチェーンを支えるコアロジスティクス事業の成長                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルアカウントマネジメントの推進</li> <li>・フォワーディング数量の拡大</li> <li>・顧客サプライチェーンに対するEnd to Endソリューションの提供</li> <li>・非日系顧客の取扱拡大</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● M&amp;Aや提携、戦略投資によるダイナミックな事業成長の実現                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ グローバルM&amp;A・PMIの推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・cargo-partner社へのPMI実施</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	日本事業の再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各事業の強靱化による収益力の向上と低収益事業の変革・整理・入れ替え                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 収益力の高い組織への変革・顧客志向の強い組織への変革</li> <li>▶ 専門ロジスティクス事業の専門性向上と物流サポート事業の競争力強化</li> </ul> </li> </ul>
サステナビリティ経営戦略	サステナビリティ経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業を通じた持続可能な社会への貢献の実現                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 社会課題への対応（顧客社会課題への貢献）</li> <li>▶ 顧客・社会・株主・社員から選ばれる企業への変革</li> </ul> </li> </ul>
事業の成長を支えるコーポレート戦略		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人的資本の充実化と人財エンゲージメントの強化</li> <li>● 競争力の源泉としてのDX・IT推進による提供価値の進化・変革と新たな価値の創出</li> <li>● 経営マネジメント体制の変革と各コーポレート機能のグループとしての一体性向上</li> <li>● グローバルでの成長を支えるガバナンスとリスクマネジメントの強化</li> </ul>
企業価値向上に向けた取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営計画の着実な実行による継続的なROE向上の実現</li> <li>● 事業成長と資本収益性の向上を実現する資本政策</li> <li>● ROICを重視した事業ポートフォリオマネジメントの推進</li> </ul>

NXグループ経営計画2028の詳細は、  
こちらからご覧ください。



## グループ数値目標

### 数値目標

目標項目	2023年度	2028年度
売上収益	22,390億円	30,000億円
セグメント利益(事業利益)	812億円	1,500億円
事業利益率	3.6%	5.0%
営業利益	600億円	1,500億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	370億円	1,000億円
ROE	4.8%	10.0%以上
海外売上収益	5,855億円	12,000億円

※ 経営計画期間における想定為替レート1USD=141.0円

※ 当経営計画から海外売上収益はセグメント間消去後の数値を記載(前計画では消去前数値で記載)

※ 2028年度の数値目標は、中間年度である2026年度終了時点で見直しを予定

### 売上収益構成



本頁に記載の将来数値は、現時点における目標値又は計画値であり、その実現を保証するものではなく、様々なリスクや不確定要素によって、実際の数値と大きく異なる可能性があります。弊社はその後の状況の変化等により当該情報を更新する義務を負うものではありません。

## NXのサステナビリティ

サステナビリティサイト「NXのサステナビリティ」は、幅広いステークホルダーの皆様へNXグループのサステナビリティに対する考え方や活動の概要をお伝えすることを目的として編集しています。

サステナビリティサイトは、環境的価値、社会的価値、経済的価値、ガバナンスの観点で情報を掲載しており、幅広いステークホルダーの皆様への情報検索性を高めるため、サステナビリティデータ集やGRI対照表を掲載しています。また当社グループは、地域に密着した課題の解決と社会づくりに貢献するため、様々なコミュニティ参画（社会貢献活動）を行っており、サステナビリティサイトにおいてその詳細を掲載しています。

### 2023年度の 主なサステナビリティに 関する取組み

- 2023年 1月 サステナビリティ方針およびビジョンを策定
- 2023年 5月 SBT (Science Based Targets) 認定取得に向けコミットメントレターを提出
- 2023年 6月 「NXグループサステナビリティデータブック2023」を発行
- 2023年 8月 「NXグループ人権方針」を策定
- 2023年12月 「NXグループ 持続可能な調達方針」を策定 など

詳細は以下の各コンテンツをご参照ください。

 <p>NXグループ サステナビリティ 方針・ビジョン</p> 	 <p>NXグループ 人権方針</p> 	 <p>NXグループ 持続可能な 調達方針</p> 
 <p>NXグループ 環境憲章</p> 	 <p>サステナビリティ データブック</p> 	 <p>サステナビリティ 推進体制</p> 
 <p>NXグループが 創出する価値</p> 	 <p>Governance ガバナンス</p> 	 <p>サステナビリティ データ</p> 

CORPORATION

NIPPON EXPRESSホールディングスの最新ニュースやIR情報などを発信しています。  
<https://www.nipponexpress-holdings.com/>



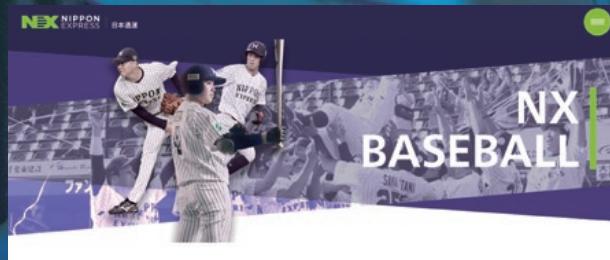
CORPORATION

日本通運の事業内容やサービス紹介、最新ニュースなどを発信しています。  
<https://www.nittsu.co.jp/>



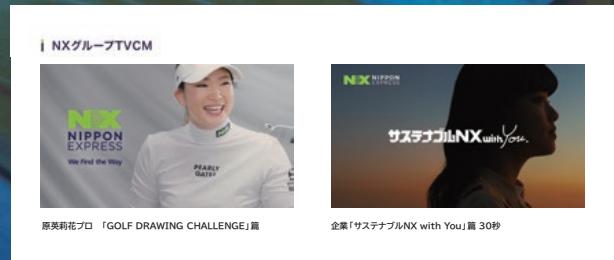
SPORTS

部活動を通して、様々なスポーツの普及、振興、国際化に努めております。  
<https://www.nittsu.co.jp/sports/>



TVCM

放映中のTVCMやTV番組を通じて、当社が展開している様々な取組みを多くの方々にお伝えしています。  
<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/about/video/>



LinkedIn公式アカウント

海外のNXグループで手掛ける事業内容を中心に、様々な情報を世界のビジネスユーザーに向けて発信しています。  
<https://www.linkedin.com/company/nippon-express-group/>



Youtube公式チャンネル

TVCMや企業活動、歴史など当社にまつわる情報を映像でご覧いただけます。  
<https://www.youtube.com/channel/UCatNmOs5hJzVWMfQeUnaQ>



NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社役員(2024年3月28日現在)

取締役

代表取締役会長



齋藤 充

代表取締役社長 社長執行役員



堀切 智

取締役 執行役員



赤石 衛  
経営企画部担当兼  
経営企画部長



阿部 幸子  
内部監査室担当

社外取締役



柴 洋二郎



伊藤 ゆみ子



塚原 月子

監査等委員  
である取締役

取締役



中本 孝

社外取締役



青木 良夫



讃井 暢子



榎野 龍二

執行役員

専務執行役員

古江 忠博

常務執行役員

大槻 秀史  
阿部 俊哉  
赤間 立也

柿山 慎一  
大辻 智

執行役員

松尾 純利  
天白 淳  
國谷 武史

坂本 健  
小林 克人  
岸田 博子

池田 祐一

## 会社概要 (2023年12月31日現在)

会社名	NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社
本社	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2番地 <a href="https://www.nipponexpress-holdings.com/">https://www.nipponexpress-holdings.com/</a>
設立	2022年1月4日
資本金	701億75百万円
事業内容	貨物自動車運送事業等を営むグループ会社の 経営管理およびそれに付随する業務

## 株式の状況 (2023年12月31日現在)

株式数	発行可能株式総数	340,000,000株
	発行済株式の総数	90,599,225株
株主数		51,240名

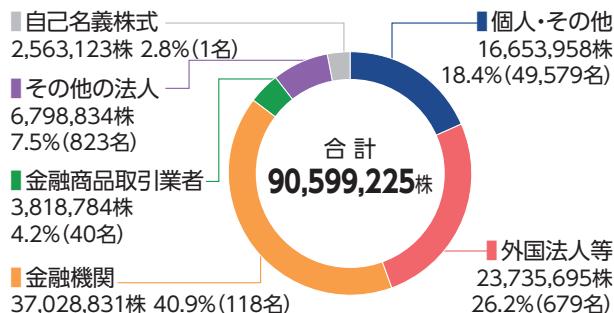
## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	12,753	14.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,549	7.4
朝日生命保険相互会社	5,601	6.4
NX持株会	4,073	4.6
損害保険ジャパン株式会社	3,567	4.1

※持株比率は、自己株式2,563千株を控除して計算しております。

## 所有者別株式の分布状況

### 〈株式数および比率〉



## 単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

### 買取請求

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

(例) 60株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

当社に市場価格で  
売却

60株

－

60株

=



現金化

### 買増請求

100株(単元株式)に不足する数の株式を、当社から市場価格で買い増し、単元株にすることができる制度です。

(例) 60株を保有の場合、40株を買い増して、100株とすることができます。

40株を、当社から市場価格で

購入

60株

+

40株

=

100株

単元株式  
(100株)

### 各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社
- ②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行  
(※下記までお問い合わせください。)

東京都府中市日鋼町1-1  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711  
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては当社ホームページでもご案内しております。

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/ir/stock-info/procedure/>



NIPPON EXPRESS 株式諸手続き

検索

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から 12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京
証券コード	9147
銘柄略称	NXHD

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 特別口座の口座管理機関
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。 電子公告掲載ホームページアドレス <a href="https://www.nipponexpress-holdings.com/">https://www.nipponexpress-holdings.com/</a>

